

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：石井利男、岡元正史

● 入会と退会。

☆ 江湖山（えこやま）亮一様 が入会されました。

☆ 渡辺都夫様 が、10月末をもって退会されました。

これからもご健康でお過ごしください。

● クリスマス。キリストの降誕を祝う祭りで「キリスト (Christ) のミサ=礼拝 (Mas)」に由来するそうです。キリストの誕生日は不明で、降誕祭と太陽の再生を祝う冬至祭（この日を境に昼の時間が長くなる）が融合したとされ、キリスト教ではローマ暦の12月25日に行われます。

今ではクリスマスはキリスト教以外の国や地域の人々にも楽しまれていて、祭りの日取りもまちまちです。

● ドイツでは、クリスマスを待つ4週間の待降祭の期間、シュトレン (Stollen) を少しずつ薄切りにして食べる習慣があります。シュトレンはレーズン、オレンジピールなどのドライフルーツとクルミなどのナッツ類を練り込んで焼いて、砂糖をまぶした素朴なフルーツケーキです。その形が幼子イエスを産着で包んでいるように見えることに由来するそうです。



● 日本では天文21 (1552) 年、周防国山口 (山口県山口市) で、カトリック教会 (イエズス会) の宣教師・修道司祭らが、日本人信徒 (キリシタン) を集って降誕祭のミサを行ったのが日本初のクリスマスです。

しかし慶長17 (1612) 年、江戸幕府の禁教令によってキリスト教が禁止されると、表向きはクリスマスは日本から消滅。明治6 (1873) 年、260年余り続いた禁教令が廃止されるまで、クリスマスは行われませんでした。

● 明治33 (1900) 年、明治屋が銀座に進出し、その頃から「クリスマス商戦」が始まったことが大きな契機となって、日本でクリスマスが多くの人たちに受け入れられるようになりました。大正11年に発行された「言泉：日本大辞典」には、クリスマスの意味する「耶蘇 (やそ) 生誕祭」という表記が見られます。

● 冬冷えのピーンと冴えた空気の中、11月の半ばから銀座大通りのショー・ウィンドーがクリスマス一色になり、12月26日の早朝を境に正月のディスプレイに一斉に変わる様は見事で、清々しくて爽快です。

11月の定例会 参加者は、2日 (木) 13名、10日 (金) 12名+体験1名でした。

12月の定例会 7日 (木)、8日 (金) です。